自転車減速帯の製作

3年土木科

木村堅　三納楓真　徳坂信吾

寺川仙峰　中山実遥　藤田幸生　本道成悟

1．目的

The purpose of our research project is reduce bicycle accidents in our school area. Firstly, we produced and placed speed bumps for bicycle riders in the area which seemed to be at high risk of accidents. Secondly, we questioned riders before and after placing speed bumps.

私たちの班の課題研究の目的は、近隣の自転車事故の軽減することです。
そこでまず、私たちは自転車用のスピードバンプを製作し、危険地帯と思われる場所に設置しました。
そして、スピードバンプがあった場合とない場合の比較検証をしました。

2．研究の概要

⑴調査
朝と放課後、第一体育館横の通学路（図1）を通る際，徐行あるいは一旦スピードを落としている生徒が、どれだけいるのかを調査。

⑵実験
色々な実験をもとに減速帯の高さ・幅・スパンを決める。

⑶減速帯設置
アスファルトで作ることを決め，約 高さ5cm，幅30cmの減速帯を設置（図2）することを決めた。

図.1　減速帯同士の間隔

図.2　高さ・幅

3．課題研究のまとめ

減速帯を設置したことにより減速する人が増えた。減速帯が設置されていないスペースを通る人がいるなど、危ない通行をしている人も見られたので、減速帯の他に看板を設置するなどをし、注意を促すなど工夫が出来たら良いと思いました。施工時、アスファルトの習性を金沢市建設業協会の方から学んだ、就職して役に立つような経験ができ、有意義な時間や貴重な体験をすることが出来た。